

## 第2回消防防災科学技術寄付講座公開セミナーご案内

### 主題:「関東大地震についての新しい知見とそこから得られる教訓」

主催: 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻

消防防災科学技術寄付講座(関沢研究室)

URL : <http://www.fse.t.u-tokyo.ac.jp>

いつ起きても不思議ではないと言われる東海地震をはじめ、東南海地震、南海地震などの巨大地震や首都直下地震の被害予測や防災対策が関心を呼んでいます。80年以上も前に発生した1923年関東大地震は、海溝型地震であると同時に震源断層が大都市近辺にまで潜り込んでいたことにより直下地震としての特性も有していました。そのために、津波、地盤災害、建物被害、そして火災被害と実に様々な被害様相を呈しながら、かつ東京や横浜などに甚大な被害を及ぼしました。

このたび、この関東大地震についての最新の知見とそこから得られる教訓について各専門の方からご講演いただくとともに、これから我々が備えるべき課題について討論を行うことを目的として、下記の要領で本寄付講座主催の第二弾公開セミナーを開催することに致しました。ついては、本公開セミナーに、ぜひ多くの方にご参加頂きますようご案内申し上げます。

#### 記

日時: 平成18年10月10日(火) 13:30-17:00 (開場 13:00)

場所: 東京大学 山上会館大会議室 (本郷キャンパス内三四郎池近く)

主題: 「関東大地震についての新しい知見とそこから得られる教訓」

13:30-13:35 開会の挨拶

内閣府政策統括官(防災担当)付災害予防担当企画官 荒木潤一郎  
東京大学消防防災科学技術寄付講座客員教授 関沢 愛

13:35-14:20 (1)「被害の全体像:地震の様相、揺れ、津波」 鹿島建設 武村雅之

14:20-15:05 (2)「各地の土砂災害、地盤災害」 日本工営 井上公夫

15:05-15:50 (3)「火災による被害」 東京大学消防防災科学技術寄付講座 西田幸夫

休憩(20分)

16:10-17:00 (4)パネルディスカッション 司会 関沢 愛

※パネリストは講師3名に加えて鈴木淳先生(東京大学大学院)を予定しています

参加申込: 講演会参加費は無料。なお、会場が100名規模ですので、参加ご希望の方は平成18年9月25日(月)までにできるだけお早めにお申し込みください。

申込は、以下の項目を記入して下記申込先にFAX,あるいはE-mailにてお申し込み下さい。

1)氏名 2)所属 3)連絡先(勤務先住所・電話及びFAX・E-mail)

FAX(03)5841-7327 E-mail : [takahashi@fse.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:takahashi@fse.t.u-tokyo.ac.jp) (高橋あて)